

自然
案内人が
誘う

取材/佐藤さゆり
撮影/久保貴史

素顔の阿蘇へ 会いにおいでよ。



北阿蘇

緑と水が織り成す爽快な景観

火砕流台地で形成された外輪山の北側には草原と溪流、南側にはブナや杉が林立する山並みが、そして中岳では、今も噴煙が上がっています。世界最大級のカルデラを誇る阿蘇。表情が異なる3つのトレッキングコースを、阿蘇をよく知る地元の“自然案内人”と歩けば、奥深い阿蘇の素顔に出会えます。



中阿蘇

荒々しい火山の息吹を感じる

森と巨木が彩る古の小径



南阿蘇



自然案内人と歩こう

阿蘇の魅力を知りつきた案内人が、その魅力を余すことなく教えてください。案内人と一緒になければ入れないところもあるので、今まで知らなかった阿蘇に出会えるはず。案内は10名くらいまでで、参加者1名につき5000円(保険料込み)~。要予約。予約・問い合わせは、自然案内人協会事務局(財団法人阿蘇地域振興デザインセンター内) ☎0967・22・4801へ。

おでかけメモ

交通 豊肥本線(阿蘇高原線)阿蘇駅(北阿蘇コース)、同線宮地駅(中阿蘇コース)、同線立野駅から南阿蘇鉄道18分の中松駅下車(南阿蘇コース)。



◎阿蘇の草原がよく似合う赤牛たち

1 端辺原野

スタート
&
ゴール

まだまだ花が
残っています

◎足元で履替のよきな花を咲かせるナンバンギセル

馬場川 7 8



◎丘がどこまでも連なる端辺原野。阿蘇ならではの山野草も数多く見られます



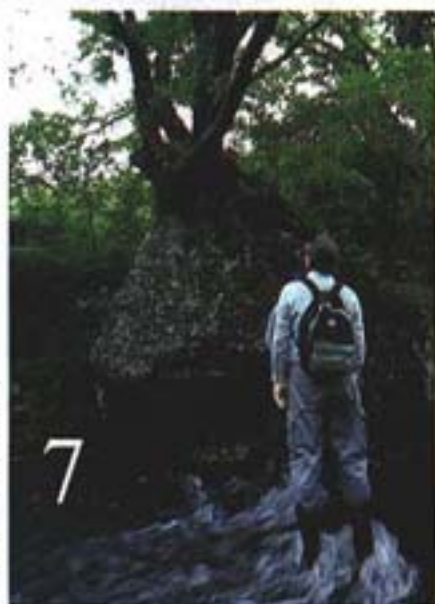
◎阿蘇で発見されたキキョウ科のヤブシロソウ

◎甘くておいしい実がなるクワミスザクラ。かつてはこの木で宮殿の占いをしていたそう



◎清らかな馬場川の深流は浅い所を選んで進んでいきます。取材時は台風の影響で増水していましたが、普段はトレッキングシューズで大丈夫です

◎大きな頭のおばあさんの横顔のような人面岩。射掛付きのイヌメいた岩など、巨岩も多いです



◎岩の上から木が伸びています。自然の営みには驚かされるばかり

ぽこぼことなだらかな緑の丘が連なり、赤牛がのんびり草を食む端辺原野。足元を見れば、黄色、紫、赤など可憐な花が風にそよいでいます。

「ここは毎年、発見があるとよ」湯浅隆雄さんはそう語ります。

歩き出すと間もなく、「キンミズヒキだな」「ゲンノシヨウコウだな」と、草木の名や獣道などを次々に指差し、教えてくれます。

標高800〜900メートルの外輪山には薬草をはじめ、阿蘇特有の草木が20〜30種存在するといわれ、珍しい花を見つけたら参加した人々から歓声が上がります。

湯浅さんはやがて、草木生い茂る



2

赤牛が草を食む草原の端辺原野から斜面を下り、筑後川水系の清水が流れる馬場川へ。火砕流の跡が残る石畳の川床を歩きながら、阿蘇ならではの草木や奇石を愛でたら、今度は半道を通って端辺原野へと戻ります。

全行程
約2キロ
コースタイム
約4時間

北阿蘇外輪トレッキング

端辺原野 ▼ 馬場川 ▼ 端辺原野

優美



3

①身の丈ほどもある草を分け、草原の斜面を沢のほうへと下りていきます



たくさんの花々と出会えます

①多くの歌に詠まれるカワラナデシコは、「秋の七草」のひとつ

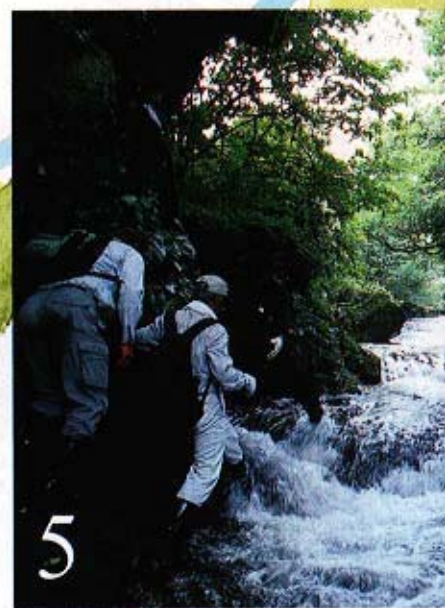


①アヤメ科のヒオウギは、夜になるとしぼんでしまう花



きれいな水が心地よく流れます

①イワヒラの仲間で見つけたカマキリ。『人が入る前から残ってる』と湯浅さん



5

丘の斜面を沢へと下りていきます。やがて目の前に現れたのは、石畳の川床を滑るように落ちてくる沢。「ここからが佳境です。もつと奥がいいんですよ」

9万年前の溶岩流を踏みしめ、流れに逆らうように沢を進めば、耳に響くのは沢の水音ばかり。苔むした火山岩や沢の岩にへばりつく草木が水面を緑色に染めています。

沢から上がると、草原を縦横無尽に走っている牛道を登っていくことに。牛が草や水を求めて斜面を蛇行しながら上り下りした道です。丘を登りきると、空と草原が広がる爽快な景色が待っています。

わたしが案内します!

湯浅陸雄 ゆあさりくお
自然保護の観点から野に咲く花や阿蘇の歴史を調べ始めて52年。北外輪山周辺は湯浅さんの知らない所はないほど、歩き尽くした場所。「夏の花は艶やか。秋の花は可憐でちょっと物悲しい」





①1506メートルの中岳に登頂成功。高岳(写真裏)、火山灰で覆われた黒い砂浜の砂千里ヶ浜など、阿蘇の見どころはまだまだ残されています

至高岳

鼓動

中阿蘇火口トレッキング

仙酔峡 ▼ 火口東 ▼ 中岳 ▼ 火口東 ▼ 仙酔峡

仙酔峡からロープウェイで火口東駅まで登ったら、まずは中岳の火口を目の当たりにできる展望所へ。さらに、赤い地層を踏みしめながら尾根づたいに歩くと、阿蘇を一望する中岳山頂にたどり着きます。

全行程
約2キロ
コースタイム
約3時間



②登山者が持ち歩く鉄鍬は柔らかい層を見るときに使用。ほかにハンマーやスコップも携帯しています

至 砂千里ヶ浜



③中岳へ登る途中で小休止。眼下には緑の阿蘇谷も広がり、目の前の赤土とは対照的

ロープウェイの火口東駅に降り立てば、いきなり硫黄の匂いがふん。匂いの元は火山ガスです。

今なお噴煙がモクモクと噴き上がる中岳火口東展望所では、返り一面が真っ白。やがて風に白煙が流されると、地獄を連想させるような溶岩の石が転がる荒々しい景観が。そして視線を火口に移すと、ソーダ色の湯だまりが静かに湯をたたえています。

「今は湯だまりの地下の浅い所までマグマが上がってきているんです」
いつ噴火が始まってもおかしくない阿蘇は、紛れもない活火山なのです。

火口の反対側に険しい山々が姿を現しました。中岳と高岳です。

「さあて行こうか」

「どこに登山道が？」と思うのですが、細い尾根がその道。足がすぐみえますが、意外にも道は広くて歩きやすい。

「表面がてろーっと赤いのはガスで酸化したんです」

赤、褐色、黄色などと異なる地質を探りながら阿蘇の噴火の様子、岩質の違いを説明してくれる池辺さん。

やがて一行は中岳登頂に成功。



○仙酔峡から眺めた1500メートル級の阿蘇の山並み。ツツジ科のミヤマキリシマが花咲く春はみごと

○道責の匂いを避けながら坂道を登れば、火口はすぐ目の前!



1



○火口東駅まで10分ほどの空中散歩



○ロープウェイから見える中岳の山肌。噴火時に流れ出た溶岩の生々しい跡です

細切れの道
を歩きます

1

4

これであなたも阿蘇の植物博士!

中腹は低木のノリウツギ、春、仙酔峡付近を紅色に染めるミヤマキリシマ、そして火口近くの、火山灰しかない地層でも育つイタドリとコイワカンスゲ。この4つの植物が阿蘇の山を知るキーワードです。

火口東展望所

ここからの火口の表情は、この道を通った人だけが見られるこぼろび

○火口近くに植物発見! 「こんな場所に最初に出るのはイタドリ」。寒さと乾燥に強い植物です

3

2
火口



2

○火口に溜まった湯だまり。「これが見えるうちは噴火はしばらくありません」



3

○火口から3重に壁ができ、その周辺は覚涼とした景色が広がっています。登山道からは火口のさまざまな姿が見られます

本来は砂千里ヶ浜へと続くコースですが、ガスが多いため今回はここで引き返し。それでも赤茶けた山頂とは異なり、眼下に広がる阿蘇の緑に疲れが解ける想いでした。

わたしが案内します!

池辺伸一郎 いけべしんいちろう
阿蘇の火山活動の歴史と研究成果を展示・発表する「阿蘇火山博物館」館長。「阿蘇はいつ噴火が始まってもおかしくないんですよ」とのこと。トレッキング用のシューズが必須。





鬱蒼とした針葉樹の森を登り、急勾配で馬も引き返したという駒返峠までたどり着いたら、穏やかなブナの森と笹の道を抜けて多津山峠へ。クライマックスは林立する杉の巨木。阿蘇の歴史を感じさせてくれます。

全行程
約4キロ
コースタイム
約4時間

南阿蘇外輪トレッキング

林道駒返り線終点 ▶ 駒返峠 ▶ 多津山峠

癒し

5
江戸時代の交通の要所だった多津山峠。村の境界線か、または商家のたてか、杉の並木も残されています。すべての木が天上へ伸びて伸びた姿は圧巻。



4
南外輪山で見つけた葉っぱでクイズタイム。ブナの葉は、ほかとちよつと違うのです



4
江戸時代よりこの地に樹を生やす杉は、横回りか3メートル以上の大木もあります



1
薪のために切った木が朽ち、その後、別の植物の種が落ちて、現在10種類が共生



2
鳥の音がさえずざえと響きわたる。ひんやりした空気が山全体を包むよう。鬱蒼とした杉の木立はやがて、ヤマモミジやクサアジサイ、ミズナラの森へと、少しずつ

2
林からの斜面を見て、馬が引き返したという小径。溝敷の石も杉も若むしています

つ姿を変えていきます。「ブナが出たら標高1000メートルくらい。木は好かんとこに生えんとです」
駒返峠から歩くなだらかな尾根には優しい印象を醸し出すブナの森。そして多津山峠から山を降りれば、次は杉の巨木が両手を広げ、天に向かってすつくと伸びています。「夏は鳥がうるさいほどだけど秋は静かでね。世界に自分だけって気がするよ」と、南外輪山を語る古澤さん。黄金色のブナの落葉を踏みしめて歩く秋は、格別の美しさなのだそう。

わたしが案内します!



古澤順正 ふるさわじゅんせい
南外輪山の麓、久木野村に生まれ育つ。小さな頃から南外輪山に遊び、親しみ、植物や動物、歴史を学ぶ。現在、農業と木工に従事するかたわら、多津山峠をはじめとした南外輪山のトレッキングコース作りも行なっている。